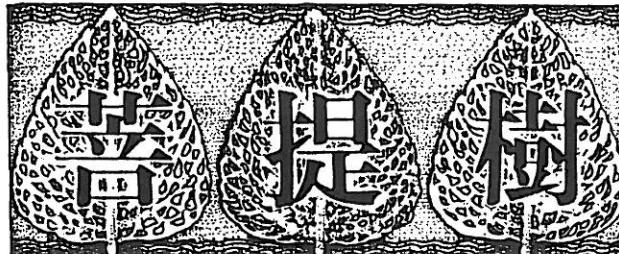


H12
3/21
第十四号



園章デザイン 人間国宝 田村耕一先生

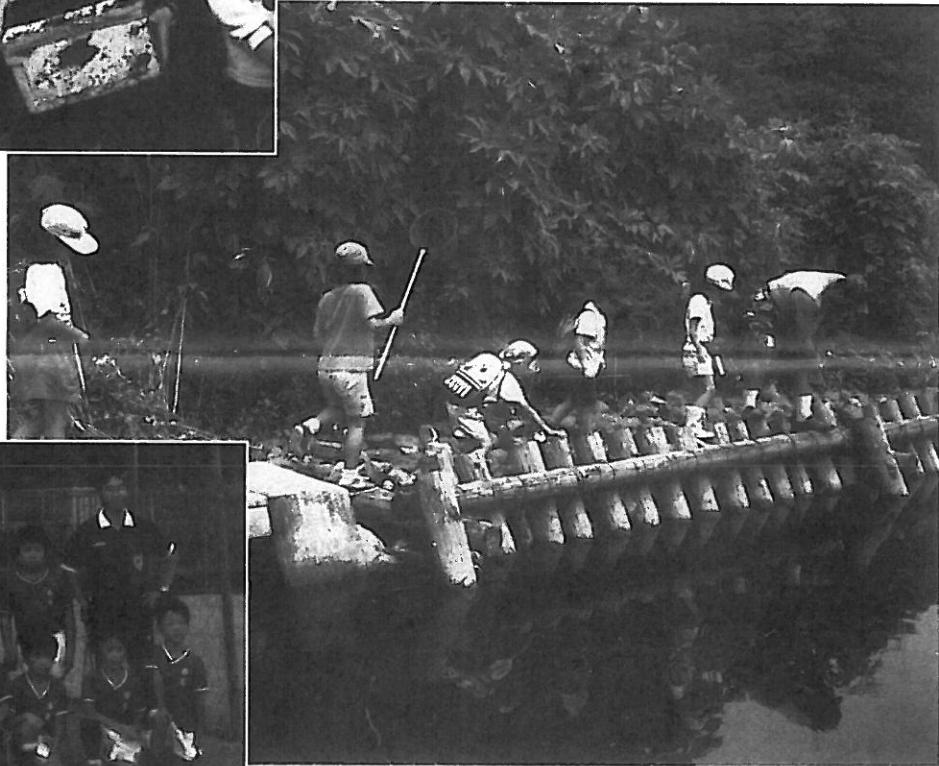
発行者／学校法人 春竜愛育会
春竜幼稚園
栃木県佐野市大祝町2312
TEL 0283 (22) 0149
FAX 0283 (22) 8569
E-mail : donryu3@maple.ocn.ne.jp
編集責任者／ 小林 研介
保護者会広報
題字デザイン／ 足利短大教授
武井宏允先生
印刷所／ 荒畠印刷所



同窓会にてタイムカプセルを掘り出す



春竜FCジュニアユース(中学生)チーム



ネーチャークラブ(NSC) ザリガにとり



春竜FCプライマリー(2年生)チーム

長い間私は、卒園式の日にこの子達が楽しい幼稚園時代を過ごしてくれたかなと、複雑な気持ちで送り出してきました。そしていつの頃からか、もし楽しかったのならこの園に、子どもたちがもっと戻ってくるようにならないかと考えるようになりました。そこですで始めたことは同窓会の開催でした。毎年3月に小学校1年生と6年生の同窓会を開くようにしました。1年生は1年ぶり、6年生はこれから中学でまた一緒になる年の開催です。1年生はともかく6年生になると子どもたちは見違えるほど成長です。声変わりした身長も先生より大きくなっている子もいます。その変化をおしゃべりの時間が経つにつれ、水が溶けるように幼稚園時代とだぶつけてきます。子供同士もテレや遠慮がなくなり、ゆり組やふじ組のあの頃に帰っていきます。「先生まだ結婚しないの?」なんておませなことも言っています。

その次に始めたことはサッカークラブでした。春竜FC(ツットボールクラブ)と言います。元々幼稚園の課外活動のクラブでしたが子ども成長のようこのクラブも成長し、幼稚園のころにサッカーを始めた現中学生が今も来ています。小学校3年生までをプライマリー、6年生までをジュニア、そして中学生3年生までをジュニアユースと呼び、年齢ごとに分け練習しています。専属のコーチも2年前からばかり、中学生のクラブは元アーリーガーが週1回コーチングに来ててくれています。そしてもうひとつ。自然といつぱい楽しもうというネーチャークラブが2年前にできました。自然の中には不思議な世界がたくさんあり、ある意味でそこは実験室のようなものです。ですからそのクラブは「ネーチャー＆サイエンスクラブ(NSC)」と名づけました。6年生までの会員が自分の興味で活動を選び参加することができます。中学生はボランティアでお手伝いとしての参加です。

同窓会は別としてサッカークラブもNSCも卒園生以外の子も参加はもちろん可能です。こうした動きは、幼稚園というものが卒園してからも子どもたちにとって寄つていきたくなるような、魅力的な場所になることを目指してのものなのです。ちよつとほつとして、ちょっとエキサイティングでちょっと遊びごころでなつかしくて、つまりふるさとのような場所であったなと思ったからです。

それは子どもだけでなくお母さんやお父さんにも持つてもらいたい心もあります。実は園児であつたお孫さんがどちらつ縁で、ひとりのおじいちゃんや私は飲み友達です。ハーモニカが特技のその方は亡き奥様とお二人で幼稚園の運動会には欠かさず来っていました。幼稚園の運動会は孫との思い出でもあり、亡き妻との思い出もあるとおっしゃっています。だれにどつても幼稚園がこれらのふるさとになれるように、幼稚園はもつともっと幅広く、子どもの心にも大人の心にも入りたいと思つてこの頃なのです。

幼稚園がみんなでつながる会

園長 小林研介

